

事業番号	15 02 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州少人数教育推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課
			実施期間	H14～	E-mail	gimukyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 ・平成25年度から、小中学校の全学年で少人数学級編制を実施している。 ・学習習慣、生活習慣の定着や学力の向上等に一定の成果を上げている。 ・さらに効果的な事業実施のために、導入効果等の検証を踏まえた指導方法の工夫改善や、不登校支援、いじめ対策等、様々な教育課題に対応した教員配置の検討が必要。					
	【目指す姿】 30人規模学級編制や少人数学習集団編成など、学級や学習集団の規模を引き下げるための教員配置を行うことにより、児童生徒の一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行い、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着を図る。 【実施内容】 30人規模学級編制や少人数学習集団編成など、学級や学習集団の規模を引き下げるための教員配置など					
指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況
1	県内の小6児童の内、学力の全国上位(下位)1/4に含まれる者の割合	A上位:24.2% B上位:24.2% A下位:25.6% B下位:24.4%	A上位:22.0% B上位:22.7% A下位:26.8% B下位:25.3%	上位:24.0% 下位:25.5% ↗	上位:25.0% 下位:25.0%	未達成
2	県内の中3生徒の内、学力の全国上位(下位)1/4に含まれる者の割合	A上位:23.2% B上位:24.4% A下位:25.0% B下位:25.1%	A上位:22.9% B上位:23.1% A下位:25.4% B下位:25.7%	上位:25.3% 下位:25.3% ↗	上位:25.5% 下位:25.0%	未達成
※「A」:主に知識を問うA問題の上位・下位 「B」:主に活用の力を問うB問題の上位・下位				R1年度より A問題とB問題が統合		
		区分(単位:千円)		H30年度	R1年度	
		前年度繰越		0	0	
		現計予算		4,365,600	4,095,300	
		合計(A)		4,365,600	4,095,300	
		うち一般財源		2,964,800	2,772,700	
		決算額(B)		4,365,600	4,095,300	
		職員数(人)		2	2	
成果指標設定理由	第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、児童・生徒の「基礎学力の確実な定着」の状況によって、個に応じたきめ細やかな指導・支援による効果を検証できるため。					
達成状況の分析	基礎的・基本的な内容の定着について、上位・下位ともに目標値を下回ったものの、H30年度と比べて上位層の割合は増加し、下位層の割合は減少している。また、質問紙における「学習習慣」に係る数値は小中ともに昨年度よりも向上しており、かつ全国の平均値と同等もしくは上回っている。個に応じた授業及び家庭学習への対応の成果と認識している。					

主な取組	✓ 信州少人数教育推進事業の実施 ・小中及び義務教育学校における30人規模学級編制など、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行うことにより、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着を図る。		
	事業区分	対象学年	内容
	学習習慣形成支援	小1、小2	複数教員による支援・指導(TT)
	30人規模学級編制	小2～小6	30人規模(35人基準)学級編制
	30人規模学級編制 または 少人数学習集団形成	中1～3	30人規模(35人基準)学級編制と 少人数学習集団編成との選択制
少人数学習集団編成	小3～小6 中1～中3	習熟の程度に差が生じやすい教科 で30人以下の学習集団を編制 (小:算数、中:数学、英語)	
不登校児童生徒支援	中1～3	不登校・不応児童生徒の適応指導・支援	
各学校における成果・エピソード			
A小学校 低学年 学習習慣形成		◇目標:先生や友達の話最後まで聞ける児童を90%以上に高める。 ◇成果:4月71% ⇒ 1月92% ◇エピソード:「担任の先生や全体の前では聞きにくいことも、聞くと優しく教えてくれる」(児童)	
B中学校 30人規模 学級編制 (3学年)		◇目標と成果:「楽しく思い出多い体験をすることができた」95%→96% 「学習の成果を感じることができた」60%→69% ◇エピソード:「本人の欠席も減り、高校進学に向けてこれだけ前向きに生活できているのは、とてもありがたい」(保護者)	

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのよう にしてい きたいか	課 題 等 学級規模、学校規模が大きくなるにつれ、徐々に平均正答率が下がる傾向が見られる。	今後の方向性 大規模校におけるより効果的な教員配置について研究を推進する。少人数学習、授業改善を中心となって行う教員を配置し、成果のあった取組について蓄積し、共有していく。
----------------------------	--	---

事業番号	15 02 02	細事業一覧（令和元年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	信州少人数教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	信州少人数教育推進事業	4,365,600 千円	4,095,300 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	信州少人数教育推進事業	直接	小・中学校30人規模学級、少人数学習集団編成、低学年学習習慣形成、不登校児童生徒支援のため教員の配置をし、その効果検証を行った。